

株式会社ぷらんつ

Pick Up!

平成27年度

■事業計画名

新製法「30秒で酵素たっぷりスムージー」の生産体制の構築

■概 要

健康に良い野菜・果実系スムージーが普及しつつあるが、食材を揃え機材を洗うのに約30分かかることが難点であった。

当社ではわずか30秒でおいしいスムージーを作る方法を開発したので、生産体制の構築を図る。

■分 類

＜対象類型＞ ものづくり技術
＜事業類型＞ 高度生産性向上型
最新モデル

■成 果

補助事業により機械設備の導入を行った結果、安定した品質で、おいしく他社と差別化されたスムージー、青汁の製造が生産効率よく製造できることが確認された。



青汁そば若葉フルーツプラス粉末 中にバナナがたっぷり



そば若葉



大麦若葉

平成28年度

□事業計画名

オリジナル青汁・スムージーの通信販売システムの構築

□概 要

従来の青汁・スムージーは大量生産で、お客様の細かなニーズに応えられませんでした。

そこで、お客様の青汁の嗜好などの情報をもとに、当社でオリジナルの青汁を製造し販売するシステムを構築します。

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社ぷらんつ（駒ヶ根市）

開発から製造・販売まで一貫してこだわり、
「植物のチカラ」を活かす究極の商品づくりを目指す。

植物の品種改良、機能性食品の開発に携わる

健康のため、なるべく多くの野菜を取ることが推奨されています。ただ、野菜そのままでは一日に必要な量がなかなか取れないのが悩み。それを解決してくれるのが、野菜ジュースや青汁、また最近の人気のスムージーといった飲み物です。



青じろうシリーズ
青汁そば若葉フルーツプラス

ぷらんつは、青汁・スムージーなど、野菜を主体とした健康食品の開発メーカー。県内企業で30年近く植物の品種改良、機能性食品の開発に携わり、農学博士号を持つ北林広巳社長が2015（平成27）年に独立創業しました。

北林社長は前職時代、故氏原暉男信州大学農学部名誉教授とともに、そばの品種改良に長く携わりました。代表的なものが、ネパールで発見された赤花そばの原種から品種改良した「高嶺ルビー」。赤い花を咲かせるそばの畑は今、駒ヶ根市の観光名所になっています。その後、健康・機能性食品の企画・開発・販売を担当。アジアを中心に世界各国を回って役に立つ植物を探し出し、その植物の特性を活かしたさまざまな食品をつくりました。

そんな北林社長が目指したのが、前職で実感した「植物のチカラ」を活かす商品づくり。開発から製造・販売まで一貫してこだわった究極の商品です。

粉末素材をブレンドした100%天然スムージー

3年以上の研究と試行錯誤の末、完成させたのが無添加の青汁「青じろう」。一つひとつの素材の良さを活かし絶妙なバランスで配合した、今までの概念を超える青汁です。そして、平成27年度補正ものづくり補助金を活



スムージー

用してカッターや包装機等を導入し、開発に取り組んだのが「わずか30秒でつくれる酵素たっぷりスムージー」。

スムージーは生の野菜・果物をミキサーやジューサーで細かく砕き、ジュースにして飲む飲み物。美容や健康に敏感な女性を中心に人気を集めていますが、調理にとっても手間がかかりムダも多いのが難点でした。

北林社長はその問題解決を目指し、野菜そのものの成分・力を損なうことなく乾燥・粉末化する方法を考案。食品添加物を一切使用せず複数の粉末素材をブレンドし、水に溶かしてシェイクするだけでおいしい100%天然スムージーが飲める商品の開発に成功しました。日本初の新製法で（特許申請中）、国内外でも類を見ない商品として注目されています。



粉末・顆粒自動充填包装機

通信販売が中心の同社では、一般顧客向けに多品種の青汁・スムージーを製造・販売する通信販売システムを構築（平成28年度補正ものづくり補助金に採択）。さらに百貨店・スーパー向けの販促活動や、各種展示会等への出展などマーケティングに力を入れ、新規取引先の開拓にも努めています。



株式会社ぷらんつ

代表 代表取締役 北林 広巳
設立 2015（平成27）年7月
資本金 100万円
従業員数 2名
本社 駒ヶ根市赤穂8190-25



TEL.0265-95-3455 FAX.0265-95-3703

事業内容 食品、健康食品の製造・販売

<https://aojiro.com/>